

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームひだまりの丘 すずむしの家	評価実施年月日	平成 21年 9月 10日
評価実施構成員氏名	小貫山多美子 大坪史真子 富田雅子 小林由貴子 道井信子 蛭原和子 吉田文夫		
記録者氏名	小貫山 多美子	記録年月日	平成 21年 10月 1日

北 海 道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>生活重視の今の理念を「すずむしの家」としてどう地域と、繋がっていくか理念の構築を行っている</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>行事を行う時やカンファレンスなどで理念を確認し個別計画に活かし日々ケアを行っている</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>ご家族様に対しては、運営推進委員会やホームの行事などにお誘いした際などに又個別介護計画を立てた際などに、ご意見を伺っている</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>秋祭りで子供神輿や近隣の幼稚園児が来訪など、地域との交流を深める努力をしている</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会に加入し、町内会の行事にはできるだけ参加するようにしている 新年会・盆踊り・ラベンダー祭り・AED救急研修等</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>3名の管理者はじめ職員は地域の行事や研修会、会合への参加を通して認知症ケアの啓発に努めている また、人材育成の貢献として札幌市からの認知症介護実践者研修の実習生の受け入れを行なっている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	職員全員で自己評価に取り組んでいる 外部評価の結果については職員の研修や改善の機会として捉え ケアの向上に活かしている		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月毎に計画的に開催し、サービス提供の内容報告を行うと共に 地域やご家族様からの意見を検討し、次回に報告するなどしている		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市や区で構成する管理者会議に出席しグループホームサービスの 質の向上に取り組んでいる 札幌市からの依頼により、認知症介護実践者研修の実習生受け入れを 行なっている		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	必要とされる入居者様には情報提供ができています 今後、勉強会などに参加し学ぶ機会を持ち続けていく		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	内部外部の勉強する機会を持ち虐待のないケアの実践を徹底している		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に契約書をもとに重要事項を説明し同意を得ている 又、グループホームでの生活が継続できなくなった場合は ご家族様と相談し、納得して頂いた上で契約解除している 退居後の不安がないように医療機関などの紹介を行なっている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常的な会話や行動等を記録に残したり、ケアカンファで検討したりと常に入居者様の意見や行動を運営に反映できる状況作りをしている		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月お便りを発行し生活状況や行事報告を写真入りで載せている 又、行事や職員の異動等の情報も入れている 入居者様のお小遣いは1ヶ月単位で領収書添付の上、報告している		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	アンケート調査を定期的に行い意見や不満・苦情の集約に努めている 又、定期的に行う運営推進会議への出席を呼びかける等、意見を出し易い環境作りをしている		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は日常業務の中でその都度、職員の意見を聞き入れるよう努めると共に毎月のユニットカンファで個別の意見を出し合っている 半年に1回の自己申告書の中でも運営者に意見が届くようなシステムを作っている		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	常勤7名の他に事業所全体で非常勤2名配置しており余裕を持った勤務体制が組んでいる 緊急時等にも無理の無いシフト体制を組めるようにユニット間の協力ができている		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	入居者様に影響が及ばないように必要最小限に行なっている 新しい職員が入った場合は全入居者様に紹介し、早期に馴染みの関係ができるように全職員でフォローしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	事業所内のグループホームで委員会を組織し毎月、会の中で事例検討や研修の企画を行い様々な勉強会や業務内容の検討をしている 又、事業所外で行っている研修にも多くの職員が参加できるように配慮している	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	市や区の協議会や研修会等での情報交換はできている それをカンファや職員間で共有しケアに活かしている	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	日常や面談時に職員のストレスや悩みを把握できるように努めている 無記名でアンケート調査を行い、その対応等について委員会で検討している 年1回、全グループホーム職員の親睦会を行い、気分転換や情報交換の場としている	
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	内・外部の研修会等の情報を共有し参加できるように勤務調整をしている	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前にご本人と面談を必ず行っている 又、自宅や入居前の施設へ行き生活状況を確認している	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前の見学、契約前には時間を掛けお話を伺っている ご家族とは見学後に、再度面談を行いご家族が求めているサービスがGHとして可能なのか、確認を行った上で契約している	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	これまで受けていたサービスなどを事前に情報収集し、今必要な支援が何か、ご本人・ご家族の意向を伺い必要なサービスを見極めている		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	何よりもご本人の意志に沿って、ご本人のペースに合わせている 又、馴染み易いところ(レクや家事の手伝い)から自然な形で利用できるよう配慮している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	お茶を飲みながらの昔話、知恵や創意工夫を聴き、入居者様が中心となるよう雰囲気作りをしている		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人がご家族と一緒に過ごす事ができる機会を行事を通して年3回実施している		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご本人とご家族と一緒に楽しく過ごす事ができる機会を、年3回行事企画して実施している		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	できる限り人との関係を大切にして支援している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	行事やレクレーション等を一緒に楽しめる機会を提供している		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退居されたご家族からの相談等はありませんが、今後そのようなことがありましたら出来る限りの支援をしたいと考えています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で個人の意志を把握し尊重した、その人らしいケアを心掛けている		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	居室に個人のなじみ深い物を置いていただいたり、ご家族に協力して頂き過去の生活歴を詳しく尋ねるなど情報収集に努めている		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ご本人が出来る事はご本人の負担にならないように声掛けし、出来ない事はさりげなく介助している		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	職員全員で話し合い介護計画を作成、ご家族様に同意を頂いている又、何か変化があった時はその都度カンファレンスを開いている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	状態に変化がみられない時でも3ヶ月ごとに見直し、緊急時はその都度見直し計画書の変更を行っている 見直し後はご家族に説明を行い、要望を伺うなどし新しいプラン作成を行うようにしている		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録に気付いた事等を記入し、なおかつ申し送りにて職員が情報を共有しケアを行っている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	医療連携体制をとっており、24時間訪問看護ステーションと連絡を取れる体制になっている また、同意のもと訪問診療を行っている 主治医は24時間対応でグループホーム生活を支えてくれている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	運営推進会議を通して町内会と、また、日頃から近隣の大学・商店との関わりを大切に、入居者様が地域へ出やすいように働きかけている 又、地域のボランティアさんが「生花」や「音楽」のボランティアで定期的に来訪している		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	訪問美容室・訪問歯科等利用している		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括センターの職員が出席するようになり 意見や相談が出せる体制にある		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	医療機関については入居時にご家族様と相談をし、外来受診か訪問診療か、ご家族様が決めている 他の医療機関受診の際に職員が受診介助を行うこともある 又、訪問診療を利用されている方は2週に1回担当医の訪問診療を受けている		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	ほとんどの入居者様が訪問診療を利用され、いつも同じ医師が診ている 24時間医師と連絡が取れる体制になっている		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	医療連携体制をとっており、訪問看護ステーションの看護師が週1回健康管理のため来訪し、その際に相談できる体制になっている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	管理者は入院先の相談員と連携・情報交換を行い、早期退院に向け支援している		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	平成18年5月に「重度化した場合における対応指針」に関する説明を法人がご家族様に説明し同意を頂いている ホームでは一度も看取りを行ってませんが、クリニックや訪問看護ステーションとの連携体制はできている		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	クリニック・訪問看護ステーションとの連携、入居者様・ご家族様の意向を尊重しながら緊急時や急変時は主治医の指示を受けている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>入居の際には前施設から情報収集を退居の際には同意の下、ケアが継続するように情報提供をしている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>入居者様のプライバシーが侵害されないような関わり方をするように心掛けている 個人情報の保管にはマニュアルを参考に、十分注意を行なっている</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>一人ひとりに合わせた分かりやすい問いかけや選択が出来る様な支援をしている</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者様の希望を尊重し、体調に合わせて柔軟に対応している</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>行事や外出時、化粧やおしゃれをして頂き、理容美容はご本人の望むカット・パーマをしてもらえる様にしている ご家族様の付き添いで馴染みの床屋に定期的に行かれる方も居られる</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>収穫した野菜の下準備等、出来る範囲で入居者様と一緒にしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	入居者様の好みを把握し、できる限り手作りのおやつを提供している 又、ご家族様が面会時にご本人が好むおやつを持参される場合もある		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄チェック表を使用し時間を見計らって声掛けトイレ誘導し、トイレにて排泄出来るよう支援している		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	ご本人の希望を確認して入って頂き、入浴拒む方には無理せず 気分の良い時に声掛けしている		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活リズムを尊重した支援をしている 又、寝付けない時にはご本人の処方薬を飲む事で休めるように支援をしている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	日常生活での出来る事をして頂いたり、散歩やレクリエーションにて気分転換を図っている		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人の希望とご家族様の要望で、ほとんどの入居者様のお金を預かっている ご家族様との外出時に預かっているお金を持参し使用する等している	○	季節に合わせ継続をする

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天候の良い日は職員が同行し散歩やドライブに行っている	○	季節に合わせた行事等も含め外出の機会を作っていく
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	他グループホームに音楽を聴きに行ったり町内会等行事に参加している		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	コードレスの電話を使用し居室で話しをして頂き、他者に聞こえないよう配慮している		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	訪問時間の制約をせず、気軽に来やすい雰囲気作りを心掛けている。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	全職員が身体拘束によって入居者様が受ける身体的・精神的弊害について理解し、拘束のないケアを実践している 自立支援の為ベット柵を使用している方にはご家族様に拘束である事を説明した上で同意を頂いている		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	正面玄関は外部からの侵入者による安全防御の為施錠をしている ユニットのドアは施錠しておらず自由に行き来している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>入居者様の様子を把握し一緒に過ごしている</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>個人の状況に合わせてその方にとって危険な物は預かり、又は家族にお渡ししている</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>定期的に勉強会や防火訓練等行い、又、万が一事故が発生した場合は速やかに事故報告書を作成し、その後の事故防止に努めている</p>		
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>すべての職員が応急手当の勉強会に参加している</p>		
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>年3回法人の担当者の指導のもと防火訓練を実施している 防火管理者は日頃から建物の周りや倉庫などの点検をし安全を確認している また、カンファレンスの際にマニュアルや連絡網の再確認をしている</p>		
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>入居時に説明を行い理解を頂いている 又、問題が起きた時はご家族様と相談し対応にあたっている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>体調に変化が見れる時はその都度記録に残し、職員間での情報共有を行うと共に、主治医や訪問看護ステーションの指示の下医療機関を受診する等の対応をしている</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方薬については職員間で情報共有し、状態変化が見られた時は主治医の指示を仰いでいる</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>毎日、軽い体操や運動をする機会を提供している 水分摂取とバランス良い食事を心掛けている 又、場合によっては主治医の指示の下、下剤調整をしている</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後洗面所へ誘導をし支援している 義歯は就寝前に預かり、洗浄剤に浸け衛生管理をしている 歯科受診が必要な場合にはご家族様と相談の下、ご本人に合わせた受診体制を取っている(外来か訪問のどちらか)</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士が作成した献立表を参考にバランスの良い食事を提供している 又、個々に合わせ、お粥・刻み・とろみを付けるなど状況に合わせて提供している 水分量は毎日摂取量を確認し、職員間で共有ケアに活かしている</p>	
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>入居者様や来訪者の方のうがい、手洗いの実施とユニット内の消毒を毎日2回実施している 又、年2回行われている法人内の研修会へも参加している</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理用具の消毒は毎日行い、食卓や調理場はその都度消毒している 食材は必ず消毒・賞味期限を確認しながら使用し、保存方法にも注意を払っている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	3ユニット共同の玄関で広く開放的な空間になっている 建物周辺は芝生や季節感のある花を植え、ベランダから入居者様がいつでも観賞できる環境作りをしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	各箇所に花を置いたり季節毎に飾りを変える等、生活感や季節感を味わえる工夫を心掛けている 時間帯を考慮しながら軽音楽や入居者様の好みの音楽を流し、心の癒しに努めている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食卓以外にソファを2ヶ所に置き、気の合う入居者様同士の談話やテレビ観賞等に利用して頂いている		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	以前より使い慣れた家具や寝具、衣類を使用して頂き、愛着ある人形や飾り付けをして頂いている 又、ご本人やご家族の写真をご家族に相談しながら居室に飾っている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気は常に行っている 温度調整は室内温度を確認しながら適時、エアコン・暖房により快適な温度を保つよう努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>床には段差がなく、廊下やトイレ・浴室の各所に手すりを付け自立支援の環境を整えている</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>居室やフロア内の模様替えは極力行わないようにしている 食卓テーブルの座る位置も常時同じ席に座って頂く等、毎日同じ行動パターンがとれるように支援している</p>	
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>裏庭には芝生があり夏場は様々なレクやイベントを行っている 又、花壇には様々な花を植えてリビングから眺め楽しむ事ができる 横庭には菜園があり、少々の野菜作りをして収穫の喜びや調理して食べる喜びも共有している</p>	

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない	②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	②
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない	②

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	②
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	②
98	職員は、生き生きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)  
 長期入居されてる方が多く、介護度も高くなっていますが毎月行事を計画し、ご家族様のご協力もありバスレク等、年3回は家族会を行っています